



一宮と言えば「七夕」。ほかに何があるのかなあ、と思ったのが今回の企画のきっかけ。インターネット、市役所、口コミ等々で仕入れたネタをもとに情報を収集。自慢できることが、こんなにあって知ってた？

### ネギの生産量は県内で一番「千秋ネギ」 ～千秋町～



一宮市はネギの作付面積64ha、生産量1,380 tで県内1位を誇る。その主産地が千秋地区で、その中でも佐野、天摩、町屋が中心地である。ネギの種類は「越津ネギ」で、その名前の由来は津島市越津町が発祥の地という。それが「千秋ネギ」と呼ぶようになったのは昭和44年ごろ。名古屋市場を念頭におき、より魅力的なものにしようと命名された。以後、その名で親しまれている。

ちなみに千秋ネギの特徴は、冬の乾燥期でもみずみずしく、柔らかで、純白でツヤのある白身の部分が長く、他の品種より甘味があること。これは千秋地区の土壌が砂壤土で耕土が深く柔らかであるからなせるワザである。全国的にも千秋ネギは知名度があり“軟白部の長さで葉まで食べられる幻のネギ”として、全国ネットのグルメ番組で取り上げられたこともある。

### 木魚の生産量日本一 ～三ツ井～

言わずと知れた読経の際にたく仏具、木魚。江戸時代に伝わり広がったとされる。当初は京都方面で多く作られていたが、明治に入ってから衰退し、それとともに「尾張の木魚」として全国から注文が入るようになった。木魚には手作り生産と機械生産があり、手作りできる「職人」と呼ばれる人は全国に20人余りしかおらず、市内には4軒、6人ほどがいる日本一の過密地帯といわれている。生産はほとんど問屋からの受注となっている。(取材：加藤木魚製造所)



### マスコミも注目!!黄身がつまめる「尾張のおいしい卵」 ～浮野養鶏農業協同組合(千秋町)～



1日16万個の卵を生産している養鶏場。2年ほど前から、消費者への直接アピールとして、自動販売機や直売店などを設置してきた。自動販売機は名古屋、岐阜、春日井など22カ所、ドラッグストアの売り場を借りた直売所は三重、岐阜など38カ所、そのほか米屋など6店を車5台で配送する。直売所の「うきうき村」はこれまで20回ほどテレビで取り上げられ、昨年も7回取材を受けている。反響は大きく、放送後に自動販売機の売り上げが大きく伸びるといふ。

また自分の舌で味を確かめた消費者が、再度購入することも多いとか。

### 一宮市の花壇用苗界をリードする ～角田ナーセリー(萩原町)～

一宮市の花き苗数は平成12年度には日本一の座に輝いた。その原動力は角田ナーセリーといえると市の農業振興課は言う。この会社の独自の販売方法は卸売市場を通さず、ホームセンターや園芸店など、沖縄を除く全国へ直接販売するスタイルである。創業当時から多品種・大量生産で“ほしいものがほしい時に”という消費者の心をつかみ、さらに全国に先駆け、花のカラー写真ラベルを考案、「花苗は消費者の手によって育て咲かせるもの」という考え方を定着させた。そして、平成12年度農林水産祭にて内閣総理大臣賞を受賞、市の市民農業講座を開いて5年になるなど、活躍の場を広げている。



あなたの食べているマスタードはこのメーカーかも!? ~美ノ久(萩原町)~



日本は、からしの原料をすべてカナダから輸入している。その約3割をこの会社が輸入し、製造・加工し、販売している。多品目にわたっているため、からし市場でのシェアを統計することができないが、「輸入割合からみてもからしの生産量は日本一」と同社は言う。また、平成12年アメリカで開催された世界マスタードフェスティバルでは金賞を受賞するなど、品質においても世界のお墨付きである。1g以下の小さなパック製品から、1tコンテナに至るまでの多様な形態を製造している。主なファストフード店ではここで開発された製品を使用、また納豆・シューマイなどの食品にもついているので、パッケージに注目してみよう。

大手企業も注目する技術をもつ会社 ~ケーエスディー(今伊勢町)~



アルミダイカスト(アルミの圧力鋳造)製品の製造販売を手掛けるこの会社は、関連会社と協力して日本で唯一実用化された特殊な金型設計を用い、研磨や研削などの後加工を不要にした「HAD(ハイ・アビリティ・ダイキャスト)」なる特許技術を持つ。これにより、トータルコストが安くなり、より高品質の製品を中国よりも安く供給できるということで、営業専門の担当者がいないにもかかわらず、大手企業から直取引で受注する。2大自動車メーカーのハンドルチェンジ、インパネ(チェンジギアの土台)や、世界生産の4分の1の生産量を誇る草刈り機の部品などを製造している。国分社長の「努力することが財産」という言葉どおり、毎月技術者の勉強会が開かれ、次なる開発に対する余念がない。

世界の4割のシェアをもつ工業用刺繍ミシンメーカー ~バルダン(定水寺)~



世界初のコンピュータ制御多頭式刺繍ミシンを製造した会社である。多頭式刺繍ミシンは、家庭用のミシンと同じ格好をした駆動部が複数並んだもの。生産拠点を海外にももち、世界生産の約4割を生産しているという。

ちなみに、戦後京都に住んでいた柴田会長が一宮に来たきっかけは、尾張一宮駅周辺で見かけた「毛織」のネオン文字。これがミシン系の行商からの商売変えのきっかけとなり、一宮で服地の仕入れ販売、そして婦人服の製造を始めることとなる。その後、ほかの商品と差別化を図るために大きな刺繍を入れようと考え、アメリカから高額な自動刺繍機を輸入。しかし、注文を間違え使いものにならず、「ならば、自分たちで」と四苦八苦して作ったのが「世界の刺繍ミシンメーカー・バルダン」の始まりである。

日本一大きい国営公園~国営木曽三川公園(三派川地区・138タワーパーク)~

愛知県、岐阜県、三重県にまたがる国営木曽三川公園の計画面積は6,108haで、国営公園としては日本一を誇る。三派川・中央水郷・河口地区の3地区からなり、一宮市の138タワーパークは三派川地区に属する。



日本一大きい巨大棒グラフ

毎年7月から9月にかけて、公園での最高気温を表した縦25m、横100mの日本一大きい棒グラフが登場する。晴れは赤、曇りは黄、雨は青、昨年の気温はねずみ色で表されている。

アジア一高いツインアーチ

「一宮」にちなみ138mの高さを有するツインアーチ138は、アーチ式タワーとして世界第2位、アジアでは第1位の高さである。異なる高さの2本の双曲線アーチと中央のエレベーターシャフトからなり「木曽川の雄大な流れ」を象徴している。



**編集後記** それぞれの人たちの熱意が感じられた。一宮にこれほど誇れるものがあるとは...(Y) わが町を知りたい若い編集委員の熱意で取材した伝統と新しさ。一宮の息吹に期待しよう。(O)